

金澤北ロータリークラブ



第33回日彫展出品作 はるかなる夢

銭亀賢治（ぜにがめ・けんじ） 1938年／昭和13年生れ

加賀大聖寺に生れる。金沢美術工芸短大彫刻科卒業。

昭和42年日展初入選。昭和48年、53年日展特選受賞。平成4年、8年日彫展審査員就任。

昭和58年、平成5年、平成13年日展審査員就任。

現在、日展評議員。北陸日彫会事務局長、金沢市在住。

なべちゃんのバカ話（最終便）



渡邊 聡

「奉仕の形骸化」

ロータリーの目的は崇高であり、その教義や活動なども素晴らしいものであるが、地区やクラブ単位で見たとき、個々の奉仕活動は形骸化しているように思えてならない。

この例えは適切ではないかもしれないが、特に、新年度になるとクラブ拡大や増強が叫ばれる。一昨年、当クラブもガバナーの要請に応じ、余りにも短時間で新クラブを誕生させた。

拡大や増強は必要であり大切であることは十分に承知し理解しているつもりであるが、しかし、小都市で既に十数クラブがある分区の中で、僅か80数名のクラブが無理を押しまで拡大する必要があったのかどうか疑問である。

拡大はガバナーに架せられた一番の仕事だとか、地区のためだとか、他クラブが拡大したからやらなければならないだとか、その他にも愚にもつかぬ理由に於いてである。

ロータリー発祥の地であるアメリカでは、会員数が800名を超えるクラブや200名を超えるクラブが相当数有ると聞く。これらのクラブでは、拡大はどのように考えられているのであろうか？

日本のクラブ数と会員数は世界でも有数の国である。形だけの無理な拡大による新クラブ創りよりも、増強に努め中身が濃く内容の充実したクラブ創りが、より以上に必要なのではないだろうか。

また、個々のクラブの運営面に於いても同様の現象がみられる。その一つの例としては、クラブ例会に出席もせず、メイクアップもしない会員に対する処置の仕方である。

ロータリーでは、週に一度クラブ例会に出席し、昼食あるいは夕食を共にして会員と和やかに談笑しながら会員相互の理解を深め、且つ、新しい友との出会いを愉しむ。

この新しい出会いが、新たな理解と信頼を育む土壌となり友好の輪を広げ相互理解へと伸展してゆく。この事が、ロータリー本来の奉仕の姿であり原点であると云える。然るにバッジを付けて平然とし、度重なるクラブからの出席要請にも、何等の反応も示さない会員。色々な言い分は有るにしても、この様な会員に対しクラブとして定款や細則の規定を適用しない事なども形骸化の現れであり、形骸化を、より増長させる要因ではないだろうか。

先日、さる人から聞いた話であるが、京都の中心街にある料亭の一部にJC会員（青年会議所会員）お断りの店があると云っていた。ロータリアンとは関係の無い話であるが、ほんの一握りの不心得会員のために、真面目な会員が迷惑をしているという一例である。

少々、内容は辛口となったが、拾い上げればまだまだ多く有る。しかし、このように僅かな例を挙げてみても、行事化され形式化された奉仕の姿を見るにつけ、その行方に一抹の不安をおぼえる。

玉虫色の形作りだけではなく、もっともっと更にもっと勇気を出して、事の本質に近づく気概が必要なのではないだろうか。

「意識と姿勢」

遊びでも、仕事でも、何事であっても、それに向かう意識と姿勢は大切である。

意識は、気にかける心の動きや考えであり、思案分別の心の状態である。一方、姿勢は、その人が何かに取り組むための構え方であり、取り組むべき心構えや態度を表す行動の状態である。

目標を立てるにしても、行動するにしても、何をするにしても、この二つが確りしないと砂上の塔であり、瞬くのうちに崩れ落ちる。

奉仕に対する向かい方も同様であり意識と姿勢が定まらなくては、どの様に立派な目標や方針であろうと、企画であろうと、総て中途半端で終わってしまう。ロータリーやライオンズであれ、ユニセフや赤十字であれ、はたまた、その他の団体であれ、個人に依るものであっても奉仕活動には、人々の意識と姿勢が一番の頼りであり、不可欠で重要な要素なのである。

まだまだ細部に互って記述しなければ、なかなか理解してもらえないと思うが、ここまで私なりに理解し想っている点を、ごく僅かな一部分のみに絞り込んで記述した。文章に締りが無く表現力も下手なので分り辛い点が多く、且つ、斜眼的で飛躍した見方であり、各位からは色々な批評や意見が多くでるものと思う。また、多く出して貰うことを願う。それにより自分が啓蒙され迷える子羊から脱却する足掛かりになれば・・・と思う。

そして、自信を持って「ロータリー ウィハヨー」「ロータリアン ウィハヨー」ともろ手を上げて叫べる会員になることが出来るなら望外の喜びである。

2003～2004年度のための地区協議会 プログラム

9:45	登録開始		S・A・A 中村 實博
10:30	全体会議 開会点鐘 国歌『君が代』斉唱 ロータリーソング『奉仕の理想』 開会の言葉 ガバナー挨拶 特別出席者紹介 表彰・ポールハリスフェロー100%達成クラブ (魚津西ロータリークラブ)	(本館1F大ホール) ガバナー 金沢北ロータリークラブ会長 ガバナー ガバナー ガバナー	津田 達雄 佃 一成 津田 達雄 津田 達雄 津田 達雄
10:50	ガバナーエレクト所信表明	ガバナーエレクト	北川 晶夫
11:40	報告事項 地区協議会の目的について 次期国際大会について 会員増強について 次期地区大会について	次期地区研修リーダー 次期オンツー大阪委員長 R I 会員増強コーディネーター 次期地区大会実行委員長	松尾 久義 榊田敬次郎 仲谷 純三 中田 淳造
12:15	諸事お知らせ 昼食(各部会会場にてお弁当をお渡し致します)		S・A・A 中村 實博
13:10	部会会議開始 1.会長部会 2.幹事・会計部会 3.クラブ奉仕部会 4.職業奉仕部会 5.社会奉仕部会 6.新世代部会 7.国際奉仕部会 8.ロータリー財団・米山記念奨学会部会	(新館4F第11研修室) (新館1Fコンベンションホール) (本館1F大ホール) (本館2F第2研修室) (本館2F第1研修室) (本館1F第1会議室) (新館4F第10研修室) (本館3F第3研修室)	
15:00	部会会議終了(会場移動)		
15:15	全体会議再開 ガバナー所感 次期地区協議会ホストクラブ紹介 次期地区協議会ホストクラブ代表挨拶 ガバナーバッジ伝達 ガバナーエレクト挨拶 ロータリーソング『手に手つないで』 閉会の言葉	(本館1F大ホール) ガバナー ガバナーエレクト 黒部中央ロータリークラブ 会長エレクト ガバナー ガバナーエレクト ホストクラブ実行委員長	S・A・A 木村 功一 津田 達雄 北川 晶夫 寺田 義実 津田 達雄 北川 晶夫 磯野 洋明
16:00	閉会点鐘	ガバナーエレクト	北川 晶夫

金沢百万石ロータリークラブ5周年記念例会より



第1446回例会

◆ 4月24日(木) 晴れ 12:30～13:30 松魚亭

1. 講話

金沢学院大学美術文化部教授 東四柳史明氏
「中世北陸道を旅した人々」

2. 出欠

出席 49名 欠席 24名 出席率 67.12%
ビジター 6名

3. 来訪者(敬称略)

金 沢 RC 中村外志郎
金沢東 RC 二本克明
金沢西 RC 成瀬 巖 坂井美紀夫
香林坊 RC 北川善昭 水内健之

4月クラブ日誌

3日(木) 4月定例理事会 松魚亭にて
10日(木) お花見夜間例会 松魚亭にて
24日(木) 百万石RC創立5周年例会 ホテル日航金沢にて



会 長: 佃 一成	S A A: 木村 功一
会長エレクト: 米澤 修一	会 計: 卯野 正博
副 会 長: 上田 忠信	広報委員長: 汐井 俊彦
幹 事: 玉田 善明	会 員 数: 72名
副 幹 事: 木村 功一	クラブ設立: 昭和48年10月3日

例 会 日: 木曜日 12:30～13:30
例 会 場: 松魚亭 金沢市東山1-38-30
TEL<076>252-2271 FAX252-2273
事 務 局: 金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所内
TEL<076>222-2525 FAX224-2882



この会報は再生紙を利用しています。